

# 農業農村整備事業の紹介

## 圃場整備地区の集落営農の取組を強力にバックアップ！

（一関市・平泉町、一戸町の事例） ■岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課

岩手県では、意欲と能力のある経営体を育成するために、農地利用集積と一体的に圃場整備事業を推進しています。

本稿では、圃場整備地区において、事業を契機とした集落営農組織や法人の設立に向けた進め方等について、県、市町村、JA等の関係機関が取り組んだ研修会の実施事例を紹介します。

### 一関地方集落営農推進研修会（一関市・平泉町）

一関市と平泉町では、行政機

関やJA等で組織されている一関地方農林業振興協議会が主催し、圃場整備事業の導入を検討している集落等を対象に「一関地方集落営農推進研修会」を開催しています。本年度は、19団体から、各回約60名の参加がある大規模な研修会になっております。

### 研修会内容

本研修会は、一関農業改良普及センターの職員等が講師を務め、全6回で構成されています。内容は、集落営農のしくみや集落営農組織設立の進め方等の座学から、地域の現状・課題を整理しつつ集落営農組織の経営理

念を検討するグループ演習、パソコンを用いて自分の手で行う経営試算演習といった多岐にわたるものになっています。

経営試算演習では、「米価の下落により、主食用米だけでは立ち行かないことを痛感した」、「園芸作目に取り組むと小面積で大きな収入が得られることや、飼料用米、大豆、小麦の作付けにより交付金が得られることを実感できた」等といった感想が寄せられ、「稲作」から「畑作」への意識改革へつながる研修となりました。



グループ演習の状況



グループ演習の成果発表



パソコンを使って経営試算

### ～一関地方集落営農推進研修会の概要～

- 第1回 集落営農組織の設立（講義）
- 第2回 経営ビジョン作成（グループ演習）
- 第3回 事業計画の検討①（        "        ）
- 第4回 事業計画の検討①（パソコンで経営試算）
- 第5回 集落営農法人の税務、設立手続（講義）
- 第6回 事業計画書、スケジュール検討・演習

## 土地利用計画への反映

このような意識改革が進んだ結果、水稲による収益性が期待できない傾斜が大きく小区画の圃場においては、収益性が見込まれる畑地としての土地利用を計画するなど研修の効果が発揮されました。

## 2 鳥海地区集落営農法人化講座（一戸町）

一戸町の鳥海地区では、圃場整備事業を契機に設立された鳥海地区営農組合が、平成26年度から集落営農組織としての運営を始めたものの、法人設立に向けてはノウハウがなく、具体的な検討を進めることができなかったことから、一戸町が主催し、「鳥海地区集落営農法人化講座」を開催することとなりました。

## 法人化講座内容

この法人化講座は、中央農業

改良普及センターの職員が講師を務め、全4回で構成されています。二戸地域で先進的に法人を設立した金田一営農組合、アグリプロ軽米の組合長による事例紹介やグループ演習による地域の課題整理等を行いました。最終回には、法人化に向けて「誰がいつまでに取り組むか」を決定し、大判のシートに受講者が自分の手で取りまとめ、今後の進め方を明らかにすることができました。

## 3 研修会の成果

これまで紹介した2つの事例とも、地域内の課題と対応を自分たちで「整理」し、「共有」することができました。

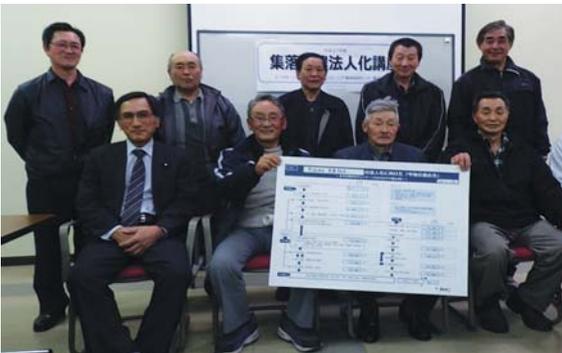
今後は、県内において、中山間地域での圃場整備事業が増え、地域ごとに異なった課題への対応が必要となることから、県では、同様の取組を継続し、地域の実情に則した集落営農組織の育成を支援していきます。

### ～鳥海地区集落営農法人化講座の概要～

- 第1回 集落営農組織の設立（講義）
- 第2回 経営ビジョン作成（グループ演習）
- 第3回 事業計画の検討（パソコンで経営試算）
- 第4回 法人化に向けたスケジュール（グループ演習）



グループ演習の成果発表



法人化スケジュールと役割分担を決定



法人化に向けたスケジュール検討

●このページに関するお問い合わせ

岩手県農林水産部農村計画課・農村建設課 Te1 019-629-5666 Fax 019-629-5679 E-mail: AF0006@pref.iwate.jp